



受付番号	令和 5 年 9 月 6 日
/	午前 8 時 30 分 受領

令和 5 年 9 月 6 日

胎内市議会議員 小野 徳重 様

胎内市議会議員 羽田野 孝子

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
不登校児童生徒への対応について	不登校児童の家族から困り事を聞いた。 市の取り組みについて伺う。 1、現在の小中学校での不登校児童生徒の人数。令和 4 年度新規の人数について。 2、新規の不登校児童生徒への対応について。 3、市における課題は何か。	教 育 長
休耕田への対策について	田んぼを貸している方から「来年度稲を作れなくなるので、田を返されることになり、今後の田んぼの管理について戸惑っている。」と聞いた。今後、休耕田が増えるのではないかと心配になるが、市として手を差し伸べる方法はないのか伺う。 1、休耕田の現状と来年度の予想について。 2、農業法人数・年齢構成・耕作面積について。 3、休耕田を増やさない対策について。	市 長

質問項目	質問の要旨	質問の相手
<p>病児保育について</p>	<p>病児保育の利用時間や利用料金についてもっと改善できないか聞かれたので質問する。</p> <p>1、利用登録児童数、利用状況、利用時間、利用料金について。</p>	<p>市長</p>

受付番号	令和5年9月6日
2	午後3時26分受領

令和5年9月6日

胎内市議会議長 小野 徳重 様

胎内市議会議員 増子 達也

一般質問通告書

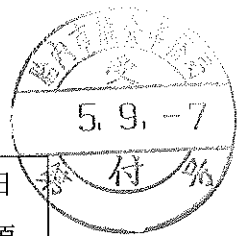


胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
胎内スキー場の運営について	<p>胎内スキー場は昭和40年(1965年)に開設し、新潟県有数のスキー場として発展してきた。また令和7年には60周年を迎える。</p> <p>これまでもいくつもの難題を乗り越え、開発を行い、下越地域では最大規模のスキー場としてスキー・スノーボードの愛好家やウインタースポーツを楽しむ家族連れなどに親しまれてきた。</p> <p>今シーズンも昨シーズン以上の来場が見込めるよう、万全の準備が必要だと考える。また60周年を無事に迎え、今後胎内スキー場のさらなる発展が当市の観光振興のために必要不可欠と考える。</p> <p>そこで以下について質問する。</p> <p>1 直近3シーズンは積雪に恵まれ、胎内スキー場の来場者数は堅調と聞くが過去3シーズンの来場者数は。また売上・利益の推移は。</p> <p>2 昨年8月の大雨でロマンスリフトA線の運転を停止したが、今シーズンには稼働できるのか。また復旧工事の進捗は。</p> <p>3 風倉高原第二ゲレンデは標高が高く雪質や展望が良い事から、利用者には好評であるが、数年前より休止している。休止の理由は。また今シーズンの再開や今後の再開の予定はあるのか。</p>	市長

(2枚中1枚目)

質問項目	質問の要旨	質問の相手
<p>アフターコロナの現状と対策について</p>	<p>4 60周年を迎えるにあたり、何かイベントなどの企画はあるのか。</p> <p>5 第一駐車場のアスファルトは、破損・クラックなど、補修が必要な箇所がかなりある。中には高低差があり危険な箇所もある。長い間補修していないように見受けられるが、今シーズン開始までに補修の予定はあるのか。</p> <p>6 トップシーズンの日曜・祝日は、駐車場の収容台数が度々足りなくなり、駐車する事ができずに帰る客があると聞く。駐車場の拡張の計画はあるのか。</p> <p>7 正面のメインロジである胎内ロジの営業は午前10時からであるが、スキー場のリフト券売り場が8:30(土日8:00)、リフトが9:00からであるため、利用者から不便であるとの声が聞かれる。開錠や営業を早める考えはあるのか。</p> <p>新型コロナウイルスが5類に移行し、アフターコロナと言われてはいるが、この数年間で生活の様式が変わり、飲食店などを中心にコロナ前の売上までには戻らないと言った声をよく耳にする。</p> <p>また、エネルギー価格高騰や円安などにより原価高騰に苦慮する企業が多く、政府によるコロナ対策の実質無利子・無担保融資(ゼロゼロ融資)の返済が本格化し経営を圧迫している。特に本市の中小零細企業の経営が心配である。</p> <p>そこで以下について質問する。</p> <p>1 エネルギー価格高騰や原価高騰に対して中小零細企業向けの補助金等の計画はあるのか。</p> <p>2 プレミアム商品券など消費喚起対策の計画はあるのか。</p>	<p>市長</p>



受付番号	令和 5 年 9 月 7 日
3	午前 8 時 40 分 受領

令和5年9月7日

胎内市議会議員 小野徳重様

胎内市議会議員 坂上清一

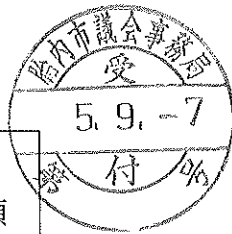
一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
地域農業の振興・発展について	<p>1 農家の高齢化等に伴い、農地の貸し借りが、貸し手が増えるばかりで、借り手がいなくなり、持続可能な農業ができなくなることが予想されるが、今後の農業の在り方をどのように考えているのか伺う。</p> <p>2 現状の農地の貸し借り面積はどのように推移してきているのか伺う。</p> <p>3 農家の高齢化、担い手がない状況下で、耕作放棄地の増加により、周辺農地への影響を及ぼす箇所が増えていくことが想定されるが、解消に向けてどのような対応策を考えているのか伺う。</p> <p>4 本年4月1日に改正農業経営基盤強化促進法が施行され、「人・農地プラン」は市町村の策定する「地域計画」として法定化された。既に策定に向けて農家への意向調査が実施されているが、現在の状</p>	市長

(2枚中1枚目)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
地域医療について	<p>況と今後の推進体制・スケジュールを伺う。</p> <p>1 長年、中山間地域の医療を担ってきた黒川診療所が医師の確保や患者数の減少などから閉院する方向であるが、地域の安心安全な生活を維持していかなければならない。現在受診している患者への具体的なサポート体制をどのように考えているのか伺う。</p>	市 長
幹線道路脇樹木等の整備について	<p>1 黒川十字路からロイヤル胎内パークホテルまでの道路脇樹木の枝等が道路上にせり出していたり、垂れ下がってきている箇所が見受けられるが、幹線道路のパトロールはどのように実施し、整備を進めていくのか伺う。</p>	市 長



受付番号	令和 5 年 9 月 7 日
4	午前 10 時 25 分 受領

令和5年9月7日

胎内市議会議員 小野 徳重 様

胎内市議会議員 渡辺 栄六

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

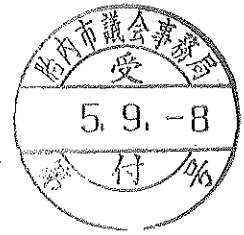
質問事項	質問の要旨	質問の相手
行政のデジタル化推進について	<p>公明党は、住民の利便性向上の観点から、自治体業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を推進してきた。その1つとして「書かない窓口」「行かない窓口」の実現を国会・地方議員が連携して積極的に訴えてきた。</p> <p>「書かない窓口」とは、住民が申請書に記入することなく住民票などの交付が受けられる窓口である。申請書作成の手間が軽減、手続き漏れも防止され、お待たせしない窓口となり、高齢者、字を書くことが苦手な方、外国人にとっても優しい窓口になる。さらには、スマートフォンなどを使ってオンラインだけで申請が済む「行かない窓口」が徐々に広まりつつある。</p> <ol style="list-style-type: none">1 行政のデジタル化の取組状況と今後の推進計画は。2 「書かない窓口」「行かない窓口」のシステム導入について市の見解を伺う。	市長
AEDの更なる活用について	<ol style="list-style-type: none">1 市内におけるAED設置状況・市民の認知度についての認識を伺う。2 公共施設に設置されているAEDで24時間使用できるのはどれくらいか。また、屋外設置への検討状況は。3 全国AEDマップの活用推進、周知については。4 AED収納箱の中に、傷病者の胸部を覆う三角巾を配備してはどうか。	市長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>小中学校 体育館の エアコン 整備につ いて</p>	<p>子どもを熱中症から守るため、公立小中学校の普通教室へのエアコン整備が、公明党の推進により整備が進み、文部科学省の調査結果による設置率は2022年9月時点で95.7%に上る。だが、体育館の設置率は11.9%にとどまっている。</p> <p>子どもたちの体育の授業をはじめ、式典や行事の会場ともなり、また防災・減災視点では、学校防災活動拠点として、災害時の避難所となる体育館において熱中症などの危険につながらないためにも、小中学校体育館へのエアコン整備が急務である。</p> <p>小中学校のエアコン整備状況と今後の整備計画について伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>

受付番号	令和 5 年 9 月 8 日
5	午前 9 時 42 分 受領

令和 5 年 9 月 8 日

胎内市議会議員 小野 徳重 様



胎内市議会議員 森本 将司

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
ふるさと納税について	<ul style="list-style-type: none"> ① 今年 10 月以降に自治体の必要経費 5 割ルールが厳格化されるが当市への影響はあるのか。 ② 旅先納税導入の考えは。 ③ 胎内ディアーズに対して企業版ふるさと納税で支援をおこなっているが通常のふるさと納税に取り入れる考えは。 	市長
一般廃棄物最終処分場について	<ul style="list-style-type: none"> ① 新発田地域広域事務組合議会において最終処分場を船戸地内に設置する計画がされているが選定の経緯と今後の見通しは。 ② 予定地付近には水田もあり、作物への影響を心配する声もあるが対応策など考えているのか。 	市長
鳥獣害対応について	<ul style="list-style-type: none"> ① 今秋の堅果類の豊凶調査で新潟県は凶作の予測であり、熊の出没が増えると考えられるが、下草刈りなどの対策は。 ② 旧中条町地内でも山に隣接する集落では猿の目撃が増えており、農作物にも被害が出ているが今後の対応策はあるのか。 	市長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
市職員の働く環境について	<p>① 市の会計年度任用職員は何名いるのか。最長何年任用できるのか。また福利厚生は。</p> <p>② 県内でも文書作成に Chat GPT を使用する自治体が増えてきているが、これについて市長はどのように考えるか。</p>	市長

(2 枚中 2 枚目)

受付番号	令和5年9月8日
6	午前9時49分受領

令和 5年 9月8日

胎内市議会議長 小野 徳重 様

胎内市議会議員 薄田 智

一般質問通告書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
胎内市の人口ビジョンと今後の少子化対策について	<p>日本の人口は令和4年出生数が国の統計を取って初めて80万人を下回った。平成28年に初めて100万人を下回っているため、7年で2割以上減少したことになります。本市においても平成27年度には208人の出生数でしたが、令和4年度は129人となり8年で38%のマイナスになりました。少子化の問題は本市に限った問題ではありませんが、国も漸く本腰を入れて、異次元の少子化対策をうたい政策を繰り出していますが、効果はすぐには期待できないと考えます。本市においても少子化対応は非常に重要な課題になっていますが、特効薬は無いと言われています。要因を1つに絞ることが出来なく、出会い、結婚、出産、育児まで一貫した総合的な支援が求められており、対策推進には市長の強いリーダーシップが必要であると考えます。</p> <p>市長は今年の施政方針の中で、子育ての取り組みとして、保護者が安心して子どもを保育園等に預けられること、子どもたちが楽しく元気に保育園等で生活がおくれること。また、全ての妊婦と子育て世帯が安心して出産・子育て出来る環境整備に取り組んで行くとのことでした。新年度に入り5ヶ月が経過しましたが、少子化という市政の大きな課題に対してどう取り組み、成果を上げているのか伺います。</p> <p>1. 胎内市の人口ビジョンの進捗状況について</p> <p>①当初計画(R2年)の人口ビジョンの進捗状況は。</p> <p>②20年かけて20～39歳の未婚率を5%減少させることは。</p> <p>③合計特殊出生率を2040年に1.79にさせることは。</p> <p>④地域おこし協力隊制度の活用、企業誘致の推進、起業、新規就農支援等により年間38人の定住者を増やすことは。</p> <p>2. 少子化・子育て支援対策について</p> <p>①安心して子どもを保育園等に預け、子どもたちが楽しく元気に生活がおくれることなどの成果と進捗状況は。また、全ての妊婦と子育て世代が安心して出産・子育て出来る環境整備の成果と進捗状況は。</p> <p>②本市の子育て支援策について市内外のPRと周知については継続的に行ってきたと考えるが、さらに一步踏み込み、市全体・社会全体で責任をもって生み育てるという機運の醸成が必要であると考えます。今後の子育て支援策に対する市長の思いは。</p>	市長

<p>郷土の伝統文化や偉人の伝承教育について</p>	<p>郷土の伝統文化や郷土の偉人の功績を学習することは、郷土に対する誇りと愛情を育むために非常に有効であると考えます。特に現在、本市が直面している人口減少、少子高齢化の大きな課題解決には地元愛を育む教育・人づくりが必要と考えます。小中学校における教育実態と将来展望について伺います。</p> <p>1. 郷土の伝統文化の学習について</p> <p>①小中学校における郷土の伝統文化の学習内容と今後の展望について。</p> <p>②中条大祭、黒川大祭にはそれぞれの地域の民謡流しを行っているが、子どもの時の民謡踊りの学習機会が少ないと言われている。小中学校の運動会や体育祭で民謡踊りを積極的に取り入れる考えは。</p> <p>③今後市民が市外に転出や移住をしても地元大祭開催時には地元に戻り、一緒になって祭りを楽しみながら踊る機会をつくることで、地元愛を育むこと、異性との出会い、ふるさと胎内への移住定住の推進に繋がる可能性があると思うが、市長の考えは。</p> <p>2. 郷土の偉人教育について</p> <p>①郷土にゆかりのある偉人(板額御前、会津八一等)の教育の実態は。</p> <p>②今後の偉人教育の将来展望については。</p> <p>③中条駅前には板額御前の銅像を建立し、本郷町・西条町には会津八一通りと命名されているが、どのくらいの市民がこのことを理解し、誇りを持っていると考えているのか。また今後の市民へのPRについては。</p>	<p>教育長 市長</p>
----------------------------	---	-------------------

(2枚中2枚目)

受付番号	令和 5 年 9 月 8 日
7	午前 10 時 19 分 受領

令和 5 年 9 月 8 日

胎内市議会議員 小野 徳重 様



胎内市議会議員 丸山 孝博

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
子育て支援について	<ol style="list-style-type: none"> 1 国の「こども未来戦略方針」について市長の受け止めと施策の検討について 2 子ども医療費助成について国保の国庫負担減額調整措置（ペナルティ）が廃止される。それにより生まれる財源はどれ位か。また子どもの均等割を軽減するために活用すべきと考えるがどうか。 3 子どもの医療費無償化の来年度の実施見通しについて 	市長
深刻な物価高騰から市民生活、地域経済を守ることにについて	<ol style="list-style-type: none"> 1 低所得者向けの支援として、住民税非課税世帯に 3 万円の支給となったが、物価高騰の影響の大きさや新たな灯油購入などに備え、一定額の支援を行うべきではないか。 2 新型コロナ前の 2019 年の収入より減少している事業者（農家や酪農、畜産農家を含む）への光熱水費等の負担を抑える支援を行うべきではないか。 	市長

<p>教育行政について</p>	<p>1 中学校統合に関することについて</p> <p>今後、「検討委員会」で協議を進めていくということだが。</p> <p>①生徒数の減少を当然のごとく追認しているがまずは、その原因を慎重に検証する必要があるのではないか。</p> <p>②令和3年に実施した中学3年生のアンケート結果についての評価、分析をどのようにされ、活かそうとしているのか。</p> <p>また、小中学生全員について調査されていないのは不十分である。今後、すみやかに実施すべきではないか。</p> <p>2 小学校で使用する、彫刻刀、そろばん、算数セットなど「買わなければいけないものが多いすぎて費用負担が重い」という声がある。学校に備品として置けないか。</p>	<p>教育長</p>
-----------------	---	------------